

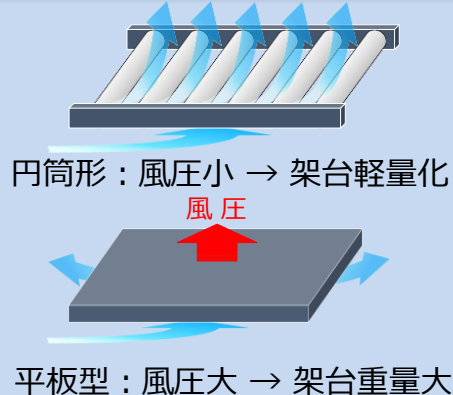
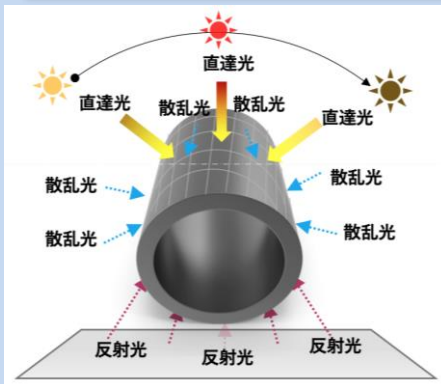
No.8

# 都会型太陽電池による 創電・蓄電の強化推進事業

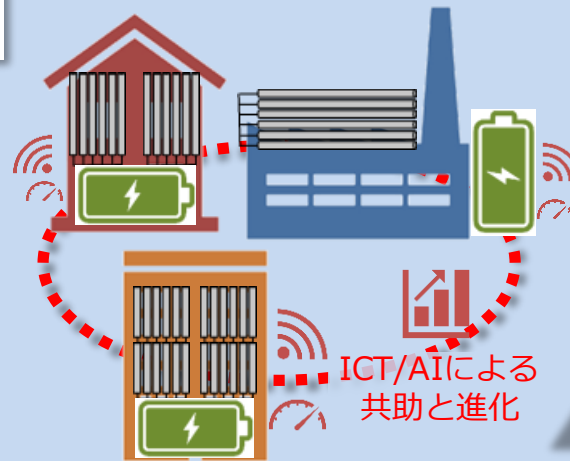
4.9 億円程度  
(事業期間3年間)

一日の総発電量が平板型の約1.5倍で、軽量で運搬やメンテナンスの容易な円筒形太陽電池を用いて、あらゆる場所で創電・蓄電を実現。平地の少ない都会で壁面発電により発電量を倍増し、全都民に太陽光発電の可能性を提供する。

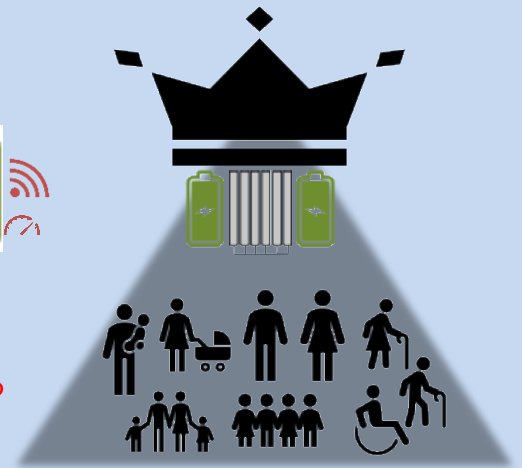
従来の平板型と比較して、  
☑総発電量が1.5倍! ☑設置場所を拡大! ☑気象のリスクを軽減!



**円筒形太陽電池の利点**  
全方向の集光による発電量の増大と  
風圧減少による軽量化の実現



**壁面発電（創電・蓄電）を  
AIでコントロールして  
安定した電力供給実証**



**都民参加による発電方法  
コンテストの実施**

### ○ 円筒形太陽電池による都会型壁面発電で一日の総発電量を従来の2倍以上に

- 円筒形太陽電池とICT/AIによる壁面発電システムの実証を実施し、都会における壁面発電の有効性・安定性を示す。既存の壁にも設置可能で、全方向の光で発電することにより、屋上のみの発電に対して2倍以上の総発電量を実現する。

### ○ 円筒形太陽電池による新しいエネルギー活用のイノベーションを創出

- 設置する場所や形態を問わない円筒形太陽電池の特徴を活かした発電方法に関するアイデア・コンテストとその実証を実施する。コスト面を含めた実証を進め、HTT（減らす・創る・蓄める）への都民の主体的な参画に繋げる。

## 事業実施による効果

東京都の太陽光発電量を従来の2倍以上に倍増させ、エネルギー＋情報のネットワーク化によりHTTを可視化して活用することで、都市の柔軟性を向上させる。